

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2011.03.12-2011.03.18 37号

楚天都市新聞より 2011年3月12日付き

広州深圳高速鉄道は7月に開通

武漢から深圳まで僅か3時間半

当初、5月に開通が見込まれていた広州深圳香港高速鉄道の広州深圳線は、今年7月まで開通が延期されることになった。開通すれば武漢から深圳まで僅か3時間半で到着できる。

広州深圳香港高速鉄道の広州深圳線は鉄道部と広東省が共同出資して建設されたもので、費用は約167億元(約2171億円、1元=13円で計算)で、2005年末に着工した。広州深圳香港高速鉄道は広州南駅を始発駅として、東莞、虎門を經由し、深圳北駅(龍華)へ至る。全長105キロメートル。今後、南は香港まで、虎門駅から惠州方面へ鉄道は延びる予定である。

武漢鉄道部門の説明によると、広州深圳香港高速鉄道を走る列車は、時速350キロメートルに達し、武漢広州高速鉄道と同じく北京香港高速鉄道の一部となる。広州深圳線が開通したら、武漢広州高速鉄道と繋がり、武漢―深圳間には高速「動車組(新幹線型車両)」が運行し、最速3時間半で深圳に到着できる。

年末には、北京から武漢への高速鉄道も全線開通となる予定である。そうすると、武漢から北へも、南へもどちらも移動が大変便利になり、広州深圳香港高速鉄道の香港線の完成後は、武漢―香港間がわずか4時間になる。

武漢の梅祭りは3月20日までに延期 桜も咲き始める

3月上旬にもかかわらず、周囲の梅の花が満開ということに市民は驚いている。その原因は、今春は全体的に気温が低いため気温が急激に上昇しなかったためと考えられる。元々3月10日に終了する予定だった中国武漢梅祭りが、3月20日まで延長されることが昨日(10日)発表された。

今年の異常気象のため、東湖梅園で梅が広範囲で咲く中で、桜も徐々に咲いており、近々訪れる観光客は梅と桜を同時に楽しむことができる。

最近、桜の開花にあたり、観光客は東湖で花見をする以外にも武漢大学、晴川、解放公園などの桜の名所で桜を觀賞することができる。



武漢大学の桜